



岩村町富田7区
もりかわ しゅん
森川 駿さん (12歳)

□プロフィール

岩邑小学校6年生(3月10日時点)。得意な教科は体育と算数。好物はそばと天ぷら。休日は、ゲームをしたり友人とバスケットをしたりして過ごしている。



▲表彰台に立つ森川さん(左)

本年1月21日と22日の二日間、山梨県富士吉田市で、2022/2023全日本ノービススケート競技会が開催された。この大会の小学6年男子500㍎で2位に輝いたのが森川駿さんだ。

森川さんがスケートに興味を持ったのは6歳の頃。スケート選手だった父親の影響で3歳上の兄がスケートを始めた。生き生きと練習する兄の姿を見ているうちに自分もやってみたいと思うようになり、恵南ジュニアスケートクラブに入学した。始めてみると、バランスを取ることが難しく、最初はなかなかうまく滑れなかった。少しずつ滑れるようになって練習が楽しくなり、自己ベストを更新できるとうれしかった。クラブの練習がない日もスケート場に通うなど、鍛錬を欠かさないが、3日行ったら1日休むようにしている。しっかりと休むこともトレーニングの一環だ。ひたむきにスケートと向き合い、着実に力を付け、

自分を信じて滑りきる
全日本ノービススピード競技会で2位

今回初めて全国大会の出場権を手にした。

大会では500㍎と1000㍎に出場。しかし初日の1000㍎でコースを間違えてしまい、記録を残すことができなかった。スピードスケートは、0.01秒の差で順位が決まる競技。この日のため、下半身と体幹を鍛えるトレーニングや、体力づくりのためにランニングをしてきたが、実力を出し切れなかった。自信をなくし「スケートをしてきた中で一番悔しかった」と苦しい夜を過ごした。そして迎えた2日目の500㍎。昨日の失敗が頭をよぎったが、前だけを見ることに集中。「自分を信じよう」と競技に臨み、2位を獲得した。「2位だと分かった時はびっくりした」と笑顔で話す。

次の目標は、兄に追いつくこと。「全国中学校スケート大会で兄の記録を抜きたい」と話し、大好きな兄と切磋琢磨しながら、今日もトレーニングに励む。



その他の話題もウェブサイトに満載



2/20

いっぱい踊ったよ、こども園
でリモートライブ開催

市内全14のこども園と東京のスタジオをつなぎ、歌と遊びとパントマイムのパフォーマンスユニット「あおぞらワッペン」によるリモートライブが開催されました。園児たちは元気いっぱい体を動かし、友達や先生と楽しい時間を過ごしました。



2/17

災害時に飲料水を供給する
協定を締結

災害時における飲料水等の優先供給に関する協定締結式
㈱アスター・恵那市

ウォーターサーバーのレンタル事業を行う㈱アスター(長島町)と市は「災害時における飲料水等の優先供給に関する協定」を結びました。この協定により、災害などで飲料水が不足した場合、同社が流通備蓄する飲料水やウォーターサーバーが市に優先的に供給されます。



2/10 3/1
トルコ・シリア地震被災者へ
支援金を送る

大井町にあるトルコ料理店の店主カーブゾグル・イブラヒム・ハリルさん(写真上・左から2番目)が、チャリティーメニューなどで母国への支援を開始し、2月10日、市役所に報告に訪れました。ハリルさんは今回の地震の震源地付近であるガジアンテップ出身で、寄せられた支援金は同地域に送られます。



山岡中学校では生徒会が中心となり、校内や山岡コミュニティセンターなどに手作りの募金箱を設置しました。生徒や保護者、教職員、地域の人から約7万円の支援金が集まり、3月1日、日本赤十字社岐阜支部に寄託しました。生徒会長の伊藤将真さんは「困っている人が1人でも助かればうれしいです」と話しました。

※日本赤十字社の募金箱は、市役所などにも設置されています



3/10

明智光秀の誕生日を
みんなでお祝い

明智光秀495歳の誕生会が、明知鉄道の明智駅で開催されました。今年は、明智こども園の年長児と明智光秀歓迎隊がハッピーバースデーの歌を歌ってお祝い。明知鉄道の車両には、この日限定で「明智光秀お誕生日号」のヘッドマークが掲げられました。



3/9

駐日ポーランド大使に
支援金の送金を報告

ウクライナの隣国ポーランドに対する支援が、令和4年3月から行われています。この日は、市国際交流協会の田代久美子会長が、市役所を訪れたパヴェフ・ミレフスキ駐日大使に支援金の目録を贈呈。2月20日までに寄せられた約150万円の送金を報告しました。